
総統閣下の憂鬱

DirtyTom

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

総統閣下の憂鬱

【Nコード】

N5170M

【作者名】

DirtyTom

【あらすじ】

実社会における組織体系の現実と裏側を架空世界に置き換えることで、問題点と怨嗟を赤裸々に、かつ浮き彫りにすることが今回のテーマです。って、完全な悪ノリです。不愉快に思われた方、申し訳ございません。

第一巻 総統閣下の憂鬱

「いや、だからさあ、今度の正月には帰るって。うん、うん、わか
ってるって。え？ 見合い？ いや、いいって。俺、今、超忙しい
しさ。いや、わかってるから。ちゃんと結婚のこととかも考えてる
って。かーちゃん、心配しすぎだって。俺、もう四十だぜ。親父に
も言っといってくれよ。いい加減、ガキ扱いすんなってさ。わかって
んの？ いや、だから、そんな簡単な仕事じゃないんだって、結構
難しいんだって。いや、わかってるんじゃないいけどさ」

「閣下！」

「あ、部下来たから、切るわ。いや、いじわるする子じゃないから、
心配すんなって。いやいや……。ホントわかってるって！ んじゃ、
な。うん、うん……」

やべやべ、マスクどこだっけ。あ、あった、あった……

「閣下、大変です！」

「どうした」

「ラーイダが来ました！」

「何！」

ええ！

何やってんの！ 自分ら！

「セキュリティはどうなっているのだ！」

「は！ 内通者によって解除された模様です」

あいつだ。

絶対あいつだ。

「アイティー男か？」

「おそらくは……」

くそ！ アイティー男のボケめ！ 前から信用できなかったっての。

絶対もうかりますから、言つて、あいつの持ってくる株、全部駄目じゃん。オリンピックの影響です、とか、わけわかんねえ言い訳してごまかそうとするし。

買い占めとか買収とか全然できてなかったし、アイティーのくせに興味は競馬とパチンコで、パソコンも苦手で、データよりも気合一発です、とかもう全部駄目じゃん！

俺、ローマ字入力できないんすよねえ、とか最初の挨拶の時言っちゃったし。

ローマ字覚えろつて言つたじゃん！ 便利なんだからさ！ 總統の言うこと、シカトかよ！ あー、もー！

あいつ、倍にして返しますんで、つて、他の怪人達から借金しまくつて、全部パチンコでスツちまったつて話じゃねえか。

再生しても性格変わってねえな。駄目だな、あいつ。

俺が給料の前借り断つたから、逆恨みしてラーイダのところに寝返りやがったな。

絶対いくらか貰つてやがる。

間違いねえ。

だいたい、株つてアイティーと関係あるのか……

結構前の話だけどさ、ガソリンダイ男なんて、収支割ってますわゝ、とかボヤキながらも、後ろ指さされながら一生懸命ガンバってたんだよ。

いつときラーイダがバイクに乗れなくなったのだって、あいつのおかげなんだよ。

ヤミキン男も、なんでガソリン代、ライダーに貸してやるかな。
いつでもいいですから、トイチですけど、って、結局、ライダー・
キックくらって、踏み倒されてんじゃん。

法的に払わなくていいでしょうが！　って一喝されて泣きそうに
なっってんじゃん。

何でそんな弱いのか？

いや、弁護士とか言われちゃうとちょっと、って。

はあ！

ま、俺もゴタゴタとか嫌だからさ、内緒でこっそりやってたいと
ころもあるし。

でもさ……。

だから言っただじゃん。

まともにやってても駄目だつて。

正義の味方には勝てないって。

俺ら、悪の組織なんだからさ！

続く

第一鬱 総統閣下の憂鬱（後書き）

独白形式というか、延々とぼやきが続くだけの内容で、まとめてしまうと非常に読みづらいため、細切れ投稿となることをご了承下さい。もし倫理面に抵触するような表現が見つかりましたら、対処いたします。

第二鬱 総統閣下の嘆き

「すぐに再生怪人達を差し向ける。全員だ！」

「それが」

何！

今度は何！

「内壁を何者かによってロックされたようで、怪人達はすべてそこで足止めを……」

「バカ者が！」

何やってんの！

だから言っただじゃん、最初に全部出しちゃ駄目だつて。

あいつら同じ現場二度目だから、モチベーションとか低いんだからさ。

何で言っただことわかんないかなあ！

だから全身タイツの子、レベル低いつて言われるんだよ。わかってる？

いや、俺言っただから。言っただの、陰の大首領だから。

中には、なんでこんなところにいんの？ ってくらい、レベル高い子いるし。

でもそういう子って、先頭きつてライダーに挑みかかってやられちゃったり、別の組織紹介してもらって、すぐ辞めちゃうんだよなあ。

どうでもいい奴に限っていつまでも残ってるのに……

「もうよい。貴様もゆけ！」

こんなバカ、顔も見たくねえ。

部下じゃなくて、バカだ、バカ！

こいつ、年功序列で戦闘員長になつたくせに、自分に実力がある
と勘違いしてやがる。単純作業しかできねくせに、すぐ仕切りた
がるし。

だいたい地方採用のおまえが怪人とタメ口きくの、おかしいじゃ
ん。

あいつら一応キャリアなんだしさ。

「閣下はどうなされるおつもりです」

「私はここでライダーと戦う」

「それでは……」

「早くゆけ！」

もういいって。

行けって。ウザいから。

「は！」

敬礼、いいって。

どうせ、敬ってねえの、わかってるし。

「ち……」

あれ？

今、ちつ、とか言わなかったか？

おい、ちょっと待て！

おい！

もしもし。

行っちゃったよ……

俺、総統閣下なんだけど……

続く

第三鬱 総統閣下のぼやき

あゝ、くそ、腹立たしい。

漢字、書けないけど、マジ鬱陶しい。

本屋で立ち読みしてる時、横にべたっとくっつかれるくらい鬱陶しい。

総統はストイックであると同時に自分のテリトリーを第一に守ろうとするタイプですね、って、分析自体が鬱陶しいって気づけや！
プロフィール男！

じつちゃんの謎はすべてわかつちやっただんですけどお、って、何と何のバクリ？

体は怪人、頭は子供、って、単に着ぐるみ着た痛いオジさんじゃん。 頭の中身だけアンチエイジングの駄目な大人だよな！

あそこはオト……、って、言わせねえからな！

心がピュアなんですよ、って、ちっともだよ。

そっぴや、よくアニメとかに、ピュアな天然キャラの女の子って出てくるけど、あれって心が清らかとか素直ってより、世間の空気が読めないオツムの弱い娘って感じだよな。

いや、別にいいんだけどね。

漢字で思い出したけど、愛媛県って都道府県の中でダントツで書くの難しいよな。

書類に書く時、愛媛県だったかな、まさか愛姫じゃねえよな、って、わかんなくなるんだよな。

幹部の奴とか覗き見してて、そりゃもう緊張するってーの。

栃木とか茨城とかも、地元じゃねえのにすぐ出てこねえって。

微妙に書けて当たり前って難易度だしさ。

そついうの結構プレッシャーなんだよね。

怪人のベースの人、全部石川とか青森出身だったらいいのにな
って、マジで思ったもんな。

イバラ『ギ』じゃなくて、イバラ『キ』なんですよ、って、あ
もう、パニくるわ！

あとさ、鳥取ってさ、前後逆でね？

おかしいよね。

豆腐と納豆、最初に意味取り違えて書いた奴、罪深いわ、ホント。

大阪も何気にヤバイって。

つい大坂って書きちゃうんだよな。

『府』っていう字が浮かんでこない時もあるしさ。

あ、俺だけ？

関係ないけどさ、兵庫ってさ、でっかい島あるじゃん。

俺、あれと四国、ずっと勘違いしててさ。兵庫でつけー、超でっ
けー、ってマジ思ってたもんな。

岩手が県で一番大きいんです、って主張してた怪人、俺が、もっ
と大きな県があるの知らぬか、たわけが！ って一喝してやった
ら悔しそうな顔で半ベソかいてたもんな。

他の怪人達にバカにされちゃってさ、イジメの対象だよ。

あとでわかってさ、バツが悪いんで、前の話だが私は北海道のこ
とを言っていたのだ！ 県言っても、都道府県全体を指し示すつも
りで言ったのだ！ そんなこともわからなかったのか！ って、逆
ギレしてやったら、スイマセン、だって。

そいつ、鬱になって、あっさりライダーにやられちゃったけど、

今思うと、かわいそうなことしたな。

俺、パワハラとか嫌いで結構上司とかにくってかかってく方だったんだけどな、やっぱ立場が変わると言う事も変わるっての、わかる気がするわあ。

うーん、人の上に立つのって難しい、マジで……。

続く

第三鬱 総統閣下のぼやき（後書き）

「メガネがどこかへいつてしまったんです、僕のメガネ見ませんでしたか？」とメガネをかけた人に言われたことがありますよ。

第四鬱 総統閣下の独白

第四鬱 総統閣下の独白

そういや、前に抜き打ちで怪人達に漢字テストやったことあるんだけど、相模って字、誰も書けなかったんだよな。

みんな相撲って書きちゃって、ベタすぎだつて。ま、俺もだけど。

ジョシアナ女、漢検一級のくせに、総統って字間違えてやがんの。総当だつて。

俺はリーグ戦かつての。

合格したの中学生の時ですから、とか、何かあるとすぐ、帰国子女ですから、とか言い訳するのやめてくれねえかな。

ま、顔で選んだ俺も悪いんだけどさ。

フリーエージェント男と夜の街へ消えてってから音信不通だし。

噂じゃフリーエージェント男、速攻捨てられて、どっかで少年野球教えてるって話だけど、どこにフリーエージェントしてんだよ。とんだ安売りだよ。

あいつもバカだよな。

俺、やめとけて言ったのに。

自分、幹部候補なんだから、つまらないスキャンダルだけは気をつけるよ、ってさ。

それでも私は愛に生きたいのです、って目え輝かせてたけど、そう思ってるのはいつも男の方だけなんだつて。

女は怖い生き物なんだよ。

でも、もう取り返しかねえよ。

あゝ、もったいない。

俺の部下って、なんでこんなマヌケばかりなんだろうな。

やってらんねえよ。

ま、いつか。今日でこんな奴らともオサラバだし。

誰にも言っていないけど、俺、今日で任期終わりなんだよね。

予定期間内で征服できてなかったから、要は左遷なんだけども。

ほら、昨日飲み会やったじゃん。

あれ、実は俺のお別れ会みたいなやつ。

そのために怪人全部再生してやったのに、アイティーのボケが。

ああゝ、裏目に出ちゃったかなゝ。

酒残ってて、なんかダルいし。

絶対見計らって来てんよ、ラーイダ。

あの相棒の奴もどつかズル賢そうだし。

あの関西弁の奴さ。あいつがしゃべっていると、なんかムカつくんだよね。

実は俺、これみよがしに関西弁使う奴って嫌いなんだよねゝ。

あ、関西人じゃなくて、あくまでも関西弁使う奴ね。関西人でもいい人いっぱいいるから。

だいたいそういうのって生粋の関西人じゃなくて、大学の時とか、二、三年仕事で大阪に行っていましたっていう、エセ関西人なんだよね。

ドラマとかで必ず一人は関西弁喋る奴とか出てくるけど、キャラ付けにしても安直過ぎだよね。たいていメインの話にからんでこないし。

俺、昔地方に住んでたけど、よその土地であんな風にどうでしょうかって感じで関西弁アツピールしちゃうって、見たことないよ。本当の関西人はもっとさりげないよ。そんなの芸能人が関西風の奴だけだって。

ほら、コンパとかでも、なんかさ、それしゃべれるだけで、俺ってすげえおもしろーじゃん、みたいなフェロモン出しまくりの奴いるじゃん。

関西弁がギャグの公式ラケットです、みたいなさあ。

そいつ自体、たいしたセンスもないのに、人のギャグの批判とかしちゃってさあ。

んー、今のツツコミ、いまいち、とか、ホント、ム力つくっての！ボケが雑だからツツコミが生きてこねえのわかんねえかな！

ツツコミに救われたくせに、自分のギャグが大受けしたと思ってやがんの！

ちょっと胸触ってみなはれ。

こう？

ポッポー！ ハト胸ー！

……

ハア！

何？ そのドヤ顔！

バカなの！

いやいや、熱くなっちまった。

この手の話題はヤバイな。

俺もまだまだだな、とつときのギャグも使っちゃったし。反省、反省。

どうでもいいけど、ちやいまんがな、って、何が変わってきた言葉？

標準語に訳すと、違いますでしょうが！　ってこと？

ます、と、まん、はわかるんだけど、でしょう、と、がな、は全然ちやいまんがな！

いや、ベタだけとお約束だからさ。

俺もまだまだだな……

続く

第五鬱 壮絶、ドル大佐の最期！

実はカンサイベン男も嫌いだったから再生しなかったんだけどね。一応、前に裏切ったって実績で、リストからはずしておいたからバレてないと思うけど。

あいつさ、なんか最初から気に入らなかったから、ライダー達と意気投合してるとこ見つけた時、チャ～ンス！ って思って、サクッと爆破してやったんだよねえ。

ドル大佐つてば、あいつのこと気に入っててさ、俺のこと疑ってたみたいだけど、鉄の掟だ、とか言って一切聞いてやらなかったからね。

大佐、涙目になってやんの。

いつまでもそんな古いことばかり言ってるから僕達も組織も変われんです！ だって。

いいじゃん、俺、総統なんだから、俺の好きなようにやっても。悔しかったら総統になってみればあ？

大佐の奴、それからやたら反抗的になったから、口ばつかペコペコ動かしておらんで、結果出せやゴラ、って感じでライダーと戦わせてやったら、コロツと負けやがって。

恥ず！

爆死する時の、総統閣下ハンザイ！ シャ。

あれわざとだよ、絶対。

最後ニヤつとしたもん。

いらねえの、付け届けだけで上の人に気に入られて、幹部になっ

たような奴は。

そのくせ、コネで総統になった俺の批判ばかりしやがってさあ。
わかってんだよ、全部。

俺にも報告してくれる可愛い部下がいるの。

でも、あのチクリ男だけは、信用できんな。表向き、いい関係で
いなくちゃならんけどね。

利用されてるともしらずに、あのゴシップ好きは、ぷぷ……

あのな、コネだろうとなんだだろうと、実力がなきゃこの世界やつ
てけねえの。

そんなこともわかんねえのかよ、あの白タイツは。

いつもモツコリモツコリ、わざとさせやがって！

総統も相当なものをもちのようですなあって、イヤミか！

シモネタとダジャレのコラボか！

こいつキモ！ って猫耳女がドン引きしてたの知らねえのか、こ
のセクハラ幹部が！

ザマミロ！

あゝ、そうそう。

猫耳女。

幹部とか他の怪人とかに、お兄ニャン、プウ！ とか言ってたく
せに、なんで俺の前だと素なの？ 真顔なの？

仕様です、とか、マジ淋しかったわー！

なんで、総統お兄ニャン、の一言が言えない！

へこむわ、ホント。

ラーイダまでお兄ニャン呼ばわりしてたくせに、俺とドル大佐だ
け呼んでくんないの。

ま、あのバカは仕方ないとしてもだけどさ。

俺までって……

あのバカ、ドル大佐のドルはアイドルのドルなんだよ、って、どうでもいいフカシ、胸張って言い切りやがって、そりゃ、目の前で猫耳女にタバコ、ぷふ、とかされるわ！

スゲーわ、おまえ。

一点の曇りもない本物のバカだ。

純度百パーの大バカだわ。

場外ホームランだわ。

逆に尊敬するわ。

もう優勝でいいわ！

続く

第六巻 総統閣下の秘密

話は変わるけどさ、うちのワープロ、バージョン古くてさ、変換かなり怪しいんだよね。

秘密庶務基地に取り替え申請出してんだけどさ、『そうとうかつか』って入力すると、『相当かつか』になっちゃうんだよね。

相当かつかのご挨拶、って、俺すげー怒ってるみたいじゃん。挨拶なのになあ。

ま、いつも怒ってるから、間違っではないけどさ。

一度総統補佐の奴が誤変換のまま、新年の取り組み予定、回覧しやがって、その後すぐに、総統閣下は相当かつかしとりますなあ、って、ドル大佐、パクったのまるわかりやんけ。

でもって、なんで誇らしげ？

どや顔？

実際、おまえにカッカしとるちゅうねん！

ウザいわ、ボケ！ カス！

あいつ、前、眼帯、左右間違えて着けてやがって、あ、いっけねく、だって。

実は両方見えてんじゃん。

すげー、目元ばっちりじゃん。

眼帯見せてもらったら、透け透けで丸見えだし。

だって単眼の方がカッコイイじゃないですかあ、って、そりゃ隻眼だ、バカ！

単眼て何？

節足動物が持つ、小柄で単純な構造の目？
単純なのはおまえの脳みそだ、バカ！
このバカ！

いかんいかん、イライラしてきた。
そろそろ帰り支度しとかんと。

ライイダ来る前にとっと逃げちゃおっと。
あれ……

……何これ？

……

ちよっ！ DVD返してねえじゃん！

何やってんの、ケータイ男！

俺言つたじゃん、大事なモノが入っているから、政府に送るヤバイヤツだから、戦いに行く前にポストに出しとけて。

俺、頼んだじゃん！

頼んだよね！

あいつ、こんなこともできねえの？

ケータイ使用量ばっか請求しやがってさ。

月、三十万だよ。シャレにならんって、あのバカ。

必要な情報源ですから、ゆっというて、アダルトサイトばっか見てやがったくせに。

全部わかってんだよ、こっちは！

ミタイホーダイに加入するの忘れてました、って、知ってるよ、入ってるの。

おまえから言ってきたじゃん。

これ入っておくと最高四千元でウェブ見放題なんですよ、總統もいかがですか？ って。

おまえ、俺ので、親子割引しようとしてたじゃん！

ふざけんなよ！ わかってるよ！

着メロとか入れてくれたのは感謝してるよ！ でもそれとこれとは話が別！

バカバカ！

受けつけの女戦闘員になんて呼ばれてたか知ってんのか？

ケツ！・痛い男、だつて。

俺、聞いちゃって思わず発泡酒噴いちゃったつてばよ。

そついや、あの娘、東京モンにしてはぼちぼちギャグのセンスあるつすわあゝ、とかカンサイベン男が言ってたな。

普段、東京モン全然だめつすわあゝ、とかバカにしてるくせに、食事誘って光速で断られてやがんの。

さえねえな、カンサイベン男。ぷっ……

続く

第七鬱 悪魔達の宴

ほんと、思い起こせば、腹立たしいことばかりだ。

ぶっちゃけ、俺って総統に向いてないんだよね。
器じゃないってのかな。

だって、部下の手前わざと声色変えたり、『うむ！』とか、『バカ者！』とか怒鳴ったりしなくちゃいけないんだよ。

俺、リアルで、『うむ』とか言ってる奴、見たことねえよ。

『だがね』とか、『おみゃー』とか言ってる名古屋人くらい、レアだって。

そんなん使うのは、よっぽどのネイティブだけだっちゅーの！

最初に総統になったの、まだ三十代のなかばくらいだったんだけど、イメージとかあって、六十歳くらいのオーラ出してないといけないしさ。

あんまフレンドリーだと年上の幹部とかになめられるってのもあるし。

あいつらたたき上げだから、俺が事務屋だってことバカにしてる節があるんだよなあ。

そんな時やってたアニメのトゥルーシユとか参考にして、鏡の前で私はゼロ！ カロリーゼロ！ ってよく練習したっけな。

ああ、俺もギャースとかいうの欲しいな……

酒入ると、すぐに脱ぎなくなっちゃうしさ。

新怪人の歓迎会の時とか、もう我慢するの必死。

一度無意識のうちにパンイチになって、マジあせったわー。

総統もそうとうメーター上がってますな、ってドル大佐、同じネタどうどうと使いまわししやがった上に、今度はオヤジギャグとのコラボだし。

て、おまえもパンイチちゃん！

総統はトランクス派ですか、私はボクサーパンツ派なんですよ、ゆつてたのに、それ百パー、ボクサーパンツじゃねえな。

白いブリーフだな、思いっきり！

しかも洗濯しすぎてヨレヨレだしな。

隙間、スカスカしてて、直視できねえよ！

何か、モロっとしてきてるよ！

一瞬で目が腐りそうだよ！

せめてピッチリしたのはけよ！

頼むよ！

白いタイツに透けると嫌なので白いボクサーパンツなのです、つて、そんなルーズフィットのボクサーパンツ、芸能人とか絶対履かねえわ！

誰からも憧れられたりしねえな！ 百万賭けてもいいわ！

おまえさ、それ、せいぜいコントとかで重ね履きとかされてて、ヤバイよヤバイよとか言われちゃうレベルだから。

テレビとかで股間に自分の顔写真貼られちゃうくらいキワドいやつだから。

そういや冬にタイツ履き忘れててモモヒキのままで出勤してきやがって、今日は気分をかえてスパッツにしてみました、って、顔真っ赤にして言い訳してたわな。

スパッツだから！ これスパッツだからー！ って、大声で何度もうるせえわ！

猫耳女、指さしてギャハギャハ笑ってたな！

そう言えば昔流行りましたねえ、フィットルーズって青春映画、
って、ツッコまねえからな、名古屋芸人の奴らには！
って昔誰かが言ってたっけ……

続く

第八鬱 衝撃、悪の組織

はあああ……

ほんでさあ、總統つつつても、結構薄給なんだよね。

月何百万宇宙ユーロも貰ってそんなイメージだけとさあ、手当とかほとんどないし、同期の總統仲間、奥さんと子供二人養うだけで、いっぱいいたって言ってたな。

今度、上の子が私立の高校に上がるらしいんで、宇宙戦艦、軽に変えたって話だし。

總統が軽宇宙戦艦じゃカッコつかんよ、って、ばやくばやく。

推薦でいいところ入つかないと、幹部とかの道なくなるから、子供のこと考えりや仕方ないけどね。

って、せつねえなあ……

これだけ組織がすっかりしてくると、無駄に使える金なんてほとんどないんだよね。

下の奴らは、やれ会議だ、必要経費だ言って、予算使いまくって、くせに、俺が領収書持つてくと、何故總統閣下がファミレスで打ち合わせする必要があるのですか、とか食ってかかってきやがるし。

いいじゃん、總統だってファミレスくらい行っただって。

ちゃんとわかりやすいように、總統閣下様、って名前で切ってもらってきたじゃん。

上様でよろしいでしょうか、って言われて、いえ總統閣下でお願いしますってしたら、はあ？ って、察しろよ、店員。

で、ぶつ、とか笑ってんなよ、店員！

慰安旅行も交友会の積み立てだし、飲み会も実費だしさ。
寸志とか毎回洒落になんねえよ。
なんで怪人ごとに小さな会つくるかな。

戦闘員との親密な交流こそが作戦時の連携に生きてくるのです、
って、おまえら、飲みたいだけじゃん！
そのくせ怪人ども、やたらオゴれオゴれって、総統手当、奴らの
飲み代でパーだわ。

ドル大佐のバカ、俺の行きつけの店行って、入れたばっかのボト
ル勝手に空けんなや！

さんざん俺の悪口言つといて、ツケまわすのやめろや！
部下に奢りたくないから、俺が行かない時は、かみさんが病気だ
から今日はちよつとな、とかよく断るくせに、あのバカ！

俺が総統やった方が相当イケてると思うがな、って、誰も聞いて
ねえよ！

女の子、みんなイケメン男とのオシヤレな会話に夢中だよ！

だいたいさあ、こんな星征服して何しようっての。
なんもねえじゃん。

文化レベル、うちらより致命的に低いしさあ。

人間なんて宇宙に連れてったらすぐ死んじゃうし。

改造してもすぐ壊れちゃうし。

こういうこと言うと人権保護法男に嫌味言われそうだな。

でもあいつ、動物愛護法女には頭上がんねえのな。

そりゃそうです、ごもつともです、だって。

そっぴや、うちの技術者、改造やたら好きみたいなんだよな。

俺は一から作った方が強いと思うんだけどな。

それ、総統会の時、ぼろつと言ったら、そういうこと言わない方がいいですよ、って同期の総統に釘さされた記憶がある。

かなり裏でぐちゃぐちゃやってるらしくて、改造なくなると、損とかする組織が出るんだってさ。

それが結構大手関連で、陰の大首領も頭が上がんないところみたいだから、一度睨まれたら二度と総統とかにはなれないんだと。

改造って名がつくだけで、グッズの売れ方、一桁違ってくるらしいし、仕方ないか。

まったく、せちがらい世の中になったもんだ……

続く

第九鬱 泣くなドジッ娘ムスメ、君の涙は美しい

改造職の奴らってやたらプライド高いしさ。改造畑一本でやってきたから、視野が狭いんだよな。

全部やめろって言うてるわけでもないのにさ。

勝手にニート男とか、ヒッキー男とか作っちゃってさあ、あいつら全然働かないじゃん。

メタボリック男なんて、なんでギリギリキープしてたサラリーマンをわざわざメタボに改造しちゃったの？

改造なんてしなくても、あと二、三年待ってれば自然に完全体になっちゃてたでしょうが！

かわいそうなことすんなよ！

メガネっ娘男って、もろ間違ってるだろ？

何がしたかったわけ！

でさあ、なんでメイドムスメとドジッ娘ムスメだけ、ムスメなの？
だってメイド女じゃ生々しいでしょ、ドジッ娘女だとクラスでイジメにあってるみたいですし、ってさ。

ああそうね、って妙に納得しちゃったじゃん！

しかもさ、ドジッ娘ムスメ、って、娘が二つ続いちゃってるじゃん。

おかしいじゃん。

ジョシアナ女も同じだよな。

収入が入ったとか、最もベストとかと同じじゃん。
満 周年とか、射程距離とかさ。

いや、これはちよつとすぐにはわかんないだろ。
重複、難しいわ。

でもって、この二人が意外にもラーイダを追いつめたから、何も
言えねーじゃん！

こんなところへよくいらっしましたね、ご主人様、ってメイド
ムスメが言ったら、ラーイダの奴、急に満更でもなさそうな顔で
ソワソワし出してさ。

あの、一人ですけど、て、何緊張しちゃってんの？

ただ今地獄行きセツトをご注文されますと妹オプションがつきま
すけどどうなさいますか？ って言われて、はい、じゃそれでお願
いします、だって。

わかってんの？

地獄へ行くんだよ、地獄。

騙されてるよ、ラーイダ。

あんな可愛い顔して、控室でタバコスパ吸ってたんだよ。

カー！ ペツ！ っとかやってんだよ！

でも、またご主人様とか言ってくれなかったな、俺とドル大佐に
だけは……

ドジッ娘がキックした時にシリモチついて、てへっ、またやつち
やいました、とか言ったら、ラーイダの奴、子供を見る時みたい
な薄笑いになってたな。

なんだよ、その優しいげなまなざしは！

いつもこうなんです、あたしってほんと駄目ですよ、っ
て涙目で言われて、そんなことないよ頑張れ、って真顔で励ましな
がら、ラーイダ、十字がためキメられて悶絶してたしさ。

でもあれ、なんか、ちょっぴり羨ましかったりして。
戦闘員の奴らも、いいな、って顔して突っ立ってたし。

ドジッ娘、ドル大佐のタイツに熱々のコーヒーぶっかけたの、あれわざとだな。

たははは、ニヤリ、って……

続く

第十鬱 悲しき天才怪人、ヒッキー

ヒッキー男とか、部屋から出てこないで、通販とかオークションとかばっかやってるしさ。

時代を反映してますから、って、まるで組織の役に立ってねえじゃん。

改造してもしなくても同じじゃん。

時代を反映させるのは、それを作り出してしまった人間達をあざ笑うためだろ！

変なモノ作り出して、逆にこっちが被害こうむってるじゃん！

全然駄目じゃん！

ベースの人間はバリバリの青年実業家で、バドミントンで国体の代表に選ばれるほどのスポーツマンで、電車でお婆さんに席をゆずるようなナイスガイなんです、って、前より駄目になってんじゃない！改造しない方が役に立ちそうじゃん！

潜在スペックは計り知れないものがあります、って、本人が潜在しちゃってんだから計りようがないわな！

根はいい奴なんですが……、って言われても、それを俺がどう評価すればいいの。

求めすぎ！ 相手に！

ヒッキー男は心の病なんです、って、何かばってんの！

何、企画から無理のある改造しちゃってんの！

ただ作りたかっただけじゃん。

覚醒とか求めてないから、まず部屋から出ることから始めようよ！ ヒッキー！

改造費返せまでは言わないけど、せめてアルバイトとかして、月五万でもいいから組織に金入れてくれよ。

電気代と宅配ピザ、ハンパねー額だよ！

何、みんな、自分が欲しい物、オークションで落としてもらっぺんの！

請求書、全部こっち持ちなんですけど、どういうこと！

んでさ、やりましたよ！ ヒッキー男がついにやってしまいましたよ！すごいもの開発してしまいました！ って、何やらかしたかと思えば、画期的な共有ソフトを作ってしまった、って、何それ……。

なんでも、これまでにない高速な速度で大容量のファイルがダウンロード放題だそうで、その分リスクは高いですが証拠は残りません、だって。

ええ〜！

大丈夫です、仮にプロバイダ経由で警察に見つかったとしても証拠が残らないので、トボけちゃえば平気です、って、それちっとも平気じゃねえじゃん！

警察にバレちゃうじゃん！

こっ！

悪の秘密基地、県警に見つかっちゃうじゃん！

そんなん聞いたことねーわ！

せめて首都圏ならいいけどさ、滋 県にあるとかわかったら、ちよっと引くじゃん！

あえてのどかなとこに作っちゃってさ、軽く恥ずかしい感じだよ

な！

おっきな湖とか映っちゃったら、すぐに場所特定されちゃうだろうなあ。

掲示板とかに晒されて、動画アップされちゃうだろう、絶対。

応対に出た怪人とかも顔にモザイクかけられて、声変えられてさ。帰れ！ おまえらの来るところじゃねえ！ って凄んじやってもさ、それ他人の土地に秘密基地作っちゃってる俺らが言われても仕方ねえことだし、立ち退きだよ、きつと。

歴史が変わりますよ、って、警察に基地の場所バレたら、そら、歴史も変わるわな！

そんなマヌケな悪の組織、前代ミモンだわな！
記憶にねーわ！

ウイルス対策もバッチリです、って、悪の組織なんだから、むしろウイルスばらまく方向でいけねえのかよ！

そんなことしたらみんなが迷惑するじゃないですか、總統なのにそんなこともわからないんですか、ふうう……、だつてさ！
何それ！ どういうこと！

駄目だ！

全然駄目だ！ こいつら。

却下だ、却下！

で、なんでそんな不服そうなの！

不満があるのはこっち！

二ト男、何、一番がっかりした顔してんの！

もっと真面目に征服とかしてくれよ！

おまえらみんな給料ドロボウじゃん！

幼稚園バスのジャックとか、温泉とのタイアップとか、あゝもゝ、
なのばっかで、もっとまじな計画たてられねえのかよ、うちの作戦
担当！

活き活きしてんの、女子戦闘員の話に脱線してる時だけでさ、あ、
腹減りましたね、何か買ってきましょうか？ って俺の方見るなよ！
全部こっち持ちかよ！

百円バーガーって言ったらガツカリした顔すんなよ！

会議中は禁煙だつったでしようが！

あーもー！

続く

第十鬱 悲しき天才怪人、ヒツキー（後書き）

最近面白いなあと思う人達・タカトシ、ブラマヨ、オードリー、アリノ、ハリセンボンの太った方

ちよつとアレだなと思う人達・ヘキ ゴンファミリィ、ハ トビとーペットの人達

ちなみに、センスないなあとよく言われます……

第十一鬱 戦慄、ニート男・その一

ニート男ってば、本部の雑用三十分やらせただけでヘトヘトのくせに、何、ブログで人生語っちゃってんの！

どこでそんな豊富な経験、積み重ねたのかなあ！
総統、記憶にねえなあ！

傭兵上がりって、誰のこと？

いつ大統領の警護とかやってたのさ！

総統に敬語つかったじゃないですかあ、って……

はあああッ！

駄じゃれえええっ！

しかもお茶持ってくるのに、お待たせしましたでござる、って、間違ってるでしょ、それ！

いい歳して敬語もまともに使えねえのか！

頭の中、お花畑かよ！

でもって、部屋中、エロゲであふれ返ってるのに、何、ファンタジー小説とか執筆しちゃってんの！

誰が読むの、それ！

ヤバイです、すごい傑作が誕生してしまいそうです、萌え萌えで

すよ、って、プロローグしか書いてないくせに、何、先走って絵師の心配とかしちゃってんの！

『ハリ井ポツ太郎とアヤシイお部屋』って、タイトル見ただけでなんのバクリなのかまるわかりだよ！

なんだよ、アヤシイお部屋って。

おまえの部屋くらいアヤシイお部屋、他に見たことねえよ！
アヤシイお部屋で萌え萌えって、フーゾクにでも行くのか！
ハリ井ポツ太郎が！

ヤバイのはおまえの頭の中だろ！

このおバカさんがあ！

プロローグ書くのに二ヶ月くらいかかってるくせに、締め切りまであと一週間ですけど、って、もう無理だろ、それ！

あと五百枚くらいですが、本気モードで一日百枚書きまくるとして、わりかし大丈夫だと思われます、って、ちっとも大丈夫じゃねえだろ！

初稿で出す気マンマンかよ！

こっちが心配しちゃうよ！

てか、タイトルでほぼ却下だろ！

瞬殺だろ！

選考委員、おまえみたいに脳ミソ濃んでねえからさ！

設定資料の情報収集のためにネカフェ行ってます、って、何ごとだよ！

締め切り一週間前でまだ設定も決まってねえのか！

たいしたもんだよ！

もう諦めるよ！

プロローグ、ほんとに意味あんのかよ！

でもって、プロローグからパンチラとかオッパイとかの単語山盛りで、それしか覚えてねーよ、もう！

あとは自己紹介だけだよ！

ナレーター語りで始まってるのに突然、『俺の名前は宮本武蔵丸、高校三年生だ……』、ってどういうこと！

頭、クラクラするよ！

ハリ井ポツ太郎、どこいったんだよ！

出てきたの、パンツ見せてる女子高生だけだよ！

たった原稿用紙五枚なのに、なんでツッコミどころ満載なの！

ファンタジー、どこいっちゃったの！

続く

第十二鬱 戦慄、二ト男・その二

ライトノベルってやつは、お約束のキーワードをあますところなく取り入れるのが基本なんです、それだけでバカ売れのウハウハです、実際は挿絵が九十五パー、残りの五パーはキャッチーなタイトルってところかな、って、ほとんど挿絵じゃん！

ラノベなめてんの、おまえ！

自分は漫画しか読まなくせにさあ！

ストーリーは売れてる作品のつぎはぎで充分です、なあと、読者なんてどうせバカな厨二病患者ばかりだから、わかりやしませんて、って、おまえほどのバカにはそうそうお目にかかれねえよ！

自分の創作活動、全否定しちゃったなあ！

おまえ、自分で自分のこといらないうって言っちゃってんだよ！
わかってんの！

何、その誇らしげな様子。

自信に満ちあふれちゃってて、頼もしい限りだよ！

ストーリーなんてかざりですよ、編集の人にはそれがわからんです、って、わかってねえのは、お・ま・え！
バーカ！ このバーカ！

ツンデレと、幼なじみと、シマシマパンツと、爆乳の人妻と、熟女と、ツンデレと、血のつながらない妹と、その他もろもろは死んでもはずせません、って、なんでファンタジーに爆乳の人妻とか出てくんの！

ツンデレ二回言っちゃってるし、どんだけ大事なの、おまえにとってツンデレ！

爆乳の人妻と熟女って分けなきゃいけないのかよ！

なんか被ってんじゃない！

『武蔵丸、別にあんたのために紅茶入れてきたんじゃないからね。勘違いしないでよね。あゝ、おっぱいが重い』

『か、母さん……』

って、それでいいのかよ！

『あと、お隣のお金持ちの家の高校一年生の幼なじみ、学校一優等生でアイドル顔負けの美女でシマシマパンツの神竜院クリステルちゃん、物干し竿に干しておいた大事なシマパン盗まれたっておおわらわだったわ。実は彼女、あんたの義理の妹だから、勘違いしないでよね。あゝ、おっぱいが重い』

『どひえ〜！』

何、この、やつすいコント！

こっそり読んできると友達に見られたら情けなくて死にたくなるわ！

『あと、あんた、お隣のクリステルちゃんと男女交際したいとか言ってたけど、お隣のお金持ちの家の高校一年生のお隣の幼なじみ、学校一優等生でお隣のアイドル顔負けの美女でシマシマパンツのお隣の神竜院クリステルちゃん、実は彼女、あんたの義理の妹だから、勘違いしないでよね。あゝ、おっぱいが重い』

『ああ、そうだったのか。ラジャー』

ラジャー、じゃねえだろ！ 武蔵丸！

あ、脱字でした、えーと、ブ……、って、ブラジャーでもラジャーでもどうでもいいわ！

すっげえパワープレイだな！

同じこと二回言っちゃってるしな。

直前の文章くらいちゃんと見直そうぜ。

お隣、お隣、お隣、しつこい！

最後にハーレムを構築できればコンプリートです、って、それ、ラノベじゃなくて、エロゲだ、エロゲ！

ここだけの話ですけど、今時の女の子のパターンはすべてエロゲの中に集約されているんですよ、って、その極秘情報、他の誰かに聞かれたら世界征服の妨げになるのかなあ！

ここだけじゃなくて、永遠に心の中にしまっとけよ！

ついでに人知れず自爆とかしちやえよ、組織のために！

何一つはずさなくていいから、とにかく死んでくんねえかな！

頼むから！

やる気がなくなってくるわ！ こっちの！

おまえと触れ合う奴、全部労働意欲消え去るわ！

あ、これ征服に使えるかもな？

って、使えるか、こんなの！

続
く

第十三鬱 番外編・美少女戦隊、ツンデレボーボーパンツ！・その一

とっておきのコンセプトがあるんですよ、侵略者と戦うために結成された、ツンデレの女子高生だけの特殊部隊を描いた物語なんです。が、近未来の日本では総理大臣に選ばれた美少女にしかそのシマシマパンツをはくことは許されていないんです、名づけて『ツンデレ防衛隊ボーダー・パンツ』！　っとか、何、熱いまなざしで言い放っちゃってんの！

ショーツでもランジェリーでもスキャンティでもパンティでもなく、ましてやアンダー・ウェアなんかでは決してありません、パンツが俺のこだわりなんです、って、どうでもいいって、そんなこだわり！

三十過ぎてんだから、もっと人生設計とかにこだわれよ！

三次元の女、イタイっすわ、って、それ負け惜しみにしか聞こえねえよ！

聞いてて切なくなってくるよ！

いったい、どうやってたら日本がそんなふうに改革できるんだよ！
どんな経緯で政権交代したら、そんなアホなこと言い出す奴に実権が移るんだよ！

女子高生にシマシマパンツはかせるためにアキバがクーデターでも起こすのかよ！

ピンポーン、じゃねえよ！
このエロガッパ！

略して、『ツンデレ・ボーボーパンツ』です、って、略してねーよ、ちつとも！

ツンデレとパンツ、そのまんまだよ！

シマ・シマで、シマが二つあるから、別名『ダブルボーダー少女部隊』って呼ばれてるんですよ、とか言いやがって、せめてそっちをタイトルにしろよ！

はやりますよ、『ダブルボーダー』、って、はやんねえよ、そんなの！

だいたい、シマシマは英語でストライプだろ！
ボーダーの意味わかってんのかよ、こいつ！

なんだよ、ボーボーパンツって！
なんかやだよ、そんなパンツ！

ボーボーとゴーゴーをかけているんです、って、ちつともかかってねえよ！

ゴーゴーパンツに先人達のどんな熱いメッセージがこめられてたってんだよ！

説明してくれよ！

パンツが電磁アタッチメントになっていて、手足にドリルとかノコギリとかレールガンとかその時の状況に応じた百キロ以上もの武装ユニットを装着しちゃうんですよ、って、そんなの観てたなあ、昨日。

飽きもせずは何回も繰り返し観てるよなあ、毎日、毎日！

ノコギリとレールガンを使い分ける状況が想像できねえんだけどなあ。

百キロ以上のノコギリってすげえな。

あれか？　ギーコギーコやって敵を倒すのか？　ギーコギーコギーコギーコ……

さっさとレールガン使えばあ！

つまり、パンツ自体が大容量、高出力の、高性能パワーユニットになっているわけですよ、って、ズボンとかの方がいいんじゃないか？　安全面から考えても。

それじゃ意味がないんですよ、って、ハアアッ？

要するにみんなに見られることによって羞恥心が高まり、それをエネルギーに変換する効果もあるわけです、って、何？　その羞恥プレイ。

で、シマパンのシマシマがプラスとマイナスになっていて、戦闘中にエクスタシーを感じると気持ちよくなってパワーアップするんです、仮にエネルギー切れを起こしても、エクスタシーの高まりが頂点に達すると暴走モードに入って再起動して敵を倒します、ってさ、どこからツツコンでいいのかわかんないくらいパクリ満載じゃねえか！

パワーが落ちてきたら、オラにみんなの力を少しだけわけておくんなまし、って言って痴態を晒すんです、って、何だよ、痴態を晒すって。

よく心が折れねえな。

そうだよな。メンタル強くなけりゃ、そんなカッコできねえもんな！

何だよ、オラ、って……

伏線ですよ、って？

挫折して自暴自棄になった時、長官に説得されて心を入れかえるんです、それで、このパンツドイツんだ？ オランダ！ って言う流れで……

あーもー！

続く

第十三鬱 番外編・美少女戦隊、ツンデレボーボーパンツ！・その一（後書き）

このあたりが山場となります。ガンダムで言うところの、ララアが死ぬ前後に該当します。番外編なのですよ……

第十四巻 番外編・美少女戦隊、ツンデレボーボーパンツ！・その二

好奇の目に晒されてパワーアップする女子高生って何？

ほら、バレーとか陸上とかのコスチュームも何となくエロいじゃないですか、って、コスじゃねえよ、機能的なユニフォームだろうが！

そついう目でしかスポーツを観られねえのか！

おまえ、全然スポーツに興味ねえだろ！

ええまあ、って、言い切りやがったよ！

結局、エネルギー切れは、女子高生が羞恥心をなくしたってことでいいのかよ。

いえ、疲れたんですよ、きつと、って、知るか！ バカ！

どうです、シビれる展開でしょう？ って、さっきからおまえの毒で全身シビれまくってるんですけどー！

だいたい、エネルギー切れたら、女の子の手足モゲちゃうだろ？ は？ じゃねえよ、百キロ以上のユニットが付いてんだろが！ 筋肉とか全然ないふにゃふにゃの手足に！

そのための電磁シマパンじゃないですか、って、そのシマパンのエネルギーが切れちゃってるんだろって言うてるのがわかんねえのか！

日本語通じねえのか！

そんな細かいことにまでこだわっていたら物語なんて何も創れませんよ、って、バカだな、コイツほんと！

おまえわかってる？

さっきからさ、お母さんとか聞いたら真顔で泣かれちゃうような情けないこと、鼻息フンフンしながら言い放っちゃってるんだよ。

他人の俺が聞いてても痛々しくて見てられないってのにさ。

すべてオリジナルのものなんてこの世には存在しません、って、すべてパクってる奴が胸張って言うようなセリフじゃねえだろ！

『別に世界平和のために戦ってるわけじゃないんだからね！』が決めゼリフなんですよ、って、戦えよ、世界平和のために！

せつかくそんな恥ずかしいカツコさせられてんだから、せめて世界平和のために戦おうよ！

一生懸命やれば誰もツッコまないからさ！

じゃないと、パンツ一丁の女子高生に倒された侵略者、報われないからさ！

上司に報告できないからさ！

今とりかかっている最中なんですよ、って、ファンタジーの締め切りはどうなったんだよ！

一生なんにも完成できねえよ、おまえじゃ！

プロローグだけはできているんですけど、ほら、こないだ見せましたよね、って、あの時のプロローグ、ボーボーパンツのだったのかよ！

どうりですげー破壊力だよ！

しかもクリステル、総理からもらった大事なシマパン盗まれちゃ

ってるじゃん！

冒頭から大事件勃発じゃん！

『ああ、そうそう、お隣のクリステルちゃんにあんたの机の上にあったシマパン、ちゃんと返しておきなさいよ。あゝ、おっぱいが重い』

って、盗んだの、武蔵丸か！

『イエッサー！』

ブラジャーじゃねえのかよ！

ちちちち、同じギャグは二度使いません、とか言いやがって、おっぱい重い、の方はことあるごとに連呼オッケーなのかよ！
言わなくちゃいけねえのかよ！

お約束ですから、って、誰とのだよ！
だからほら、って、何！

知らねえよ！

続く

第十五巻 番外編・美少女戦隊、ツンデレボーボーパンツ！・その三

『よかったわ。このパンツは私の命！ 近い将来、破滅を迎えるであろう世界を救うための大いなる力。もし見つからなかったら、地球が極悪宇宙人同盟ポッキーズに征服されてしまうところだったわ』
『そんな大事なモン、物干しにかけとくなよ、クリステル！
で、お隣さんのパンツ、盗むなよ、武蔵丸！
ポッキーズってかわいいな！』

『もしこれをなくすようなことがあれば、私達はいつだってためらうことなく切腹する覚悟ができているわ。それほどまでの覚悟よ』
『なくしてんじゃん！
切腹しろよ！』

『あと一步で長官に叱られるところだったわ』
『いや、叱られるよ、クリステル！
俺なんか名前のゴム印無くしただけで始末書書いたんだぞ！』

『まさかあなたが持つていてくれてたなんて。こんなことであるのね。ありがとう武蔵丸』
『礼を言っただけで責めるよ、武蔵丸を！
目を覚ませよ、クリステル！
持つていてくれてたんじゃなくて、盗んだんだってば！』

『別にありがとうとか言っただけなんだからね』
『言っただじゃん！ 今！』

『大丈夫、俺からも父さんに頼んでおくから』
って、長官、おまえのオヤジだよ！

世間は狭いよなあ！

んで、長官のバカ息子、下着泥棒しちゃったなあ！
もう全力でもみ消したりするんだろうな！

『助かるわ、武蔵丸。私おじ様苦手なの』

『なんのなんの。そのかわり俺がそのパンツ被ってたつてのは内緒だぜ』

『ブラジャー、うふふふ』

言っちゃったなあ、ブラジャー。

使わないって言ってたくせに……

いや、気持ち悪がれよ、クリステル！

うふふふ、とか笑ってる場合じゃねえだろ。

まったく、うかつすぎるわ！

そんなうつかり者に大いなる力を授けるなよ、総理！

総理の目、節穴だな！

しょーがねえな、たぶんアキバの中の人だもんな。

だいたい特戦隊なんだから、ドジッ娘とかの属性、必要ないだろ！

『すみません。私、小さい頃から体が弱くて、何一つみんなと同じようにできなくて、でもこの仕事だけはやり遂げてみせます。たとえこの身が朽ち果てようが。ゴホゴホッ！ あ、血！ 持病の心臓病であと半年くらいの命かもしれないけれど、私頑張る！』
情報量、ハンパねえな！

だから、そんな可哀想な子、メンバーに入れるなよ！
選考基準がまったくわからねえよ！ 不透明すぎるんだろ！
そんな子に頼らなきゃならないほど、人材難なのか？

そりゃそうだわな、パンツ一丁だもんな……

戦隊自体は何年か前からできてたんですけどね、主人公には黙っていたんです、なんでかって言うと心配させたくないからですよ、けなげなヒロインでしょ？　って、心臓病の方がショックだろ！
おまえ！

それで、主人公のお母さんが伝説のボーボーパンツだったって裏設定があったりするんです、深いでしょ？　って、薄っぺら！

ちつとも深くねえよ！

不快だよ！　不快！

夜中にやつてる垂れ流しアニメのいいところ取りじゃねえか。
しかも素材のうまみ、台無しだよ！

何から何までパクリだよ！
ツギハギだよ！

オリジナリティ、ゼロ口っ！

もう立ち上がれねえよ！
一種の才能だよ！

もはやおまえの存在自体がファンタジーだよ！

続く

第十六鬱 番外編・美少女戦隊、ツンデレボーボーパンツ！・その四

だいたいおかしいだろ、何年か前にできたばかりなのに、伝説のパンツって！

指摘された途端、実は彼女は主人公の義理の母親だったんですけどねえ、まだ若いんですよ、言ってませんでしたっけ？ って、必死になって言い訳してんじゃないって！

お母さんが義理なら、クリステルが義理の妹って設定、どこいったんだよ！

クリステル、誰の子なんだよ！

それはですね、お母さんと主人公が本当の親子じゃなくて、クリステルとお母さんが血が繋がっていたということなんです、とか、初耳だわ！

顔、真っ赤だわ！ おまえ！

まだ若いのに、お母さん、女子高生のクリステル産んじゃったのかよ！

いい質問ですね、今のお母さんは主人公のお父さんの再婚相手で、実はクリステルの二つ年上の実の姉なんですよ、まだ十八歳だったんですよ、ってさ、お母さん、十八歳になっちゃったよ！

女子高生だったのかよ！ お母さん！

息子と同年だよ！

お父さん、条例違反しちゃったのかなあ！

いちいちおっぱい重いとか言う女子高生、できれば会ってみてえよ！

で、クリステル、誰の子なんだよ！

だからそれは前にお父さんと結婚していた死に別れた奥さんとの子ですよ最初から、もう、って、主人公と兄弟じゃねえか！

実の妹じゃねえか！

主人公、実の妹のパンツ被っちゃったよ！

じゃ、あれか？ お母さんと主人公、双子だったのか？

いやそれとは違う奥さんがいてえ、って、お父さん、何回結婚してんだ？

しかも同じような時期に！

どっちみち自分の娘と結婚しちゃってるよ！

問題ありすぎだろ、長官のくせに！

クリステル、里子に出されちゃったんだな。

しょうがねえよな、お父さん、問題山積みだから！

息子が変態でも納得だわ！

よかったなあ、金持ちの家にもらわれて。

いやあ、痛いところをつかれました、盲点でしたね、さすがです、

って、バカに誉められてもちつとも嬉しくねえわ！

ちつさな嘘ごまかそうとして、雪崩式にグダグダになったただけなのに何が盲点だ。

ほんと愉快だな、おめーは！

テストロットですがネットではちよつとずつ公開しているんですよ、って、ネットのぞいたら大人気じゃねえか！

ペンネーム、ロボツ子ニートン、って、ペンネームが一番おもしろえよ、おまえ！

んでもって信者までついちゃってるよ！

世の中、どうなってんだよ！

で、感想欄見たら、誤字脱字の報告ばっかだな！

恥ずかしいな！

小学生の子に、もっとしっかり見直しましょう、とか言われちゃったな！

返信も相手の言ってることまるで理解してねえよ！

嫌味言われてるのにちつとも気づいてねえよ、ニートン！

聞かれてもないのに嬉しそうに次の展開べらべらバラしちゃってるよ、ニートン！

登場キャラ同士の会話で解説とかやめろや！

作者ですとか言って乱入して、キャラに脅されて、まったく作者を脅すなんてとんでもないキャラですトホホホ、とかトリハダ立ってくるわ！

何だか、あたたい目で見守りたくなってきちゃったでしょーが！

てか、ハリ井ポツ太郎、進行率ゼロかよ！

何、その堂々としたたたずまいは？ もう尊敬するわ！
トウゝス、とか、ウザいわ！

あのさ！ 猫耳女、おまえのこと本当のお兄ちゃんとか思ってないから、勘違いするなって！
ロマンスとか百パーないから！

いかん、興奮してしまった。こいつのことになると妙にテンションが上がってしまう。

どうも人ごとじゃないような気がして……

続く

第十七巻 総統閣下の冒険

それにしてもあちいな、このコスチューム。

勘弁してくんねえかな、なんだか、どこぞの黒人差別集団みたいだし、マントとかマジ暑いし。

そっぴや、俺が前に提案した、ノーマント・デー、って却下されたのかな？

絶対、他の総統とかも思ってるはずなんだけど、いっつも俺に言わせるんだよな。

ずるいよな、あいつら。

俺もさ、一応、総統学科出てんだよ。

エリートっぽい感じなんだよ。

俺よりちよつと前までは、高卒でも総統になれたみたいだけど、今は大学出てないと無理感ありありだな。

頑張っても駄目。

結構学閥とか強力みたいだしさ。

本当は四天王学部とかいきたかったんだけど、あそこはレベル高から推薦通らないって言われてさ。

その割に一流組織に太いパイプないみたいだし、将来性で見たら、総統職の方が安定してるからって親父に言われて、妥協したわけよ。先鋒くらいならなんとかなると思ったんだけどな。

二番手から上を専攻すると急激に難易度が上がるって話だけど、三人一緒に見られるような風潮もあるから、ある意味先鋒の方がキヤラは立ってんのかな。

まあ、四天王は専門職だから、管理職になりたければ総統の方がいいってのが通説だけどね。

でもなあ、四天王、なりたかったわー。

あ、こんな星、もうどうでもいいわ。

早く帰りたいかったってーの。

でも紹介してもらった手前、伯父さんの顔潰すわけにもいかなえしなあ。

つらかったわ、マジで。

ここに来てよかったなって思ったの、ネカマ男に誘われてネカフエでネトゲやって、仲間できた時だけだったな。

ネカマ男はネカマなのがラーイダにばれて、すげえ怒り買って、この卑怯者！　ってすぐにやられちゃったけどさ。

なんか戦闘員達からも痛い奴扱いでシカトされてたし。

その後俺、勇気出して一人で別のネトゲやったんだよな。

一人って初めてだったからドキドキしてたんだけど、その中のある人がすごく親切に教えてくれて、なんか意気投合しちゃってさ。

初心者にとってアハン・クックは最初の壁なんですよ、とかか励ましてくれたり、一緒に狩り、つき合ってくれたり、とにかくいい人だったな。

仕事の話とかになったけど、そんなのはつきり言えないから、一応世界征服関係の仕事やってます、ってカミングアウトしたら、み

んな爆笑モンでさ。

そいつも、実は俺、正義の味方方面のフリーターなんですよ、だって。

僕達、実は敵同士だったりして、だって。

笑った、笑った。

なんとなく就職はできる時にしておいた方がいいですよ、って打ったら、ちよつとムツとしちゃった感じでさ。

謝つといたけど、許してくれたかな。

結構気にしてたみたいだし、悪いことしちゃったかな。

ほんと、ネットって怖いよな。

続く

第十八鬱 共闘、ともに手を取り敵を倒せ！

ソトさんって読むんですか？ って聞いてきたんで、ソートですって教えてやったら、変わった名前ですねって返ってきたけど、部下達からはそういうふうに呼ばれてます、って返したら納得してたな。

軽い感じで『カッカ』って呼び捨てにしてくれもいいですよ、って言ったんだけど、それ無理ですから、年上の人に向かって、って俺のこと、ソートさん、ソートさんって呼んでくれて、礼儀正しい子だったな。

その人、ネトゲ仲間からは『雷田さん』って呼ばれててさ、本当は最後の方を伸ばすのが正しいんだけど、『雷田ーさん』って呼びにくいみたいでもう諦めましたって、こっそり教えてくれたよ。

自分的には呼び捨てでもかまわないんですけど、そう言うの抵抗ある人もいるみたいなんで、ってさ、ああ自分もじゃん、って感じだよな。

なんか色々大変みたいで、フリーターつつつても、ちっとも気楽じゃないらしいね。

オヤッサンって人はコーヒー一杯でヘトヘトになるまで働かせるって話だし、ひでえよなあ。

必殺技の特訓とかも無理やりやらされて、敵とかが爆発しちゃう技とかくらっても、おやっさんって人ピンピンしてんだってさ。

あの人が戦えばいいと思うんですけど、って、よくボヤいてたな。

一度うちの面接受けてみますか？　って送ったことあるんだけど、やめときます、って断られた。

俺も一応正義の味方ですし、それにソートーさんとはいい関係でいたいから、これ以上深入りしない方がいいと思います、だって。

真面目そうな子だったから、部下にしてみたい気もしたんだけど、彼の言うとおりなのかもしれないな。

結構、ネットでだけいい人、ってのもいるみたいだし。

なんか、それ以来ギクシャクしちゃって、自然と足が遠のいてった感じだったな。

オフ会もうやむやになっちゃったし。

大切な友達を失ったみたいで、何となく切なかったよな、実際。また、こそつと寄ってみてもいいけど、もうあのゲームやってる人いないかもな……

本当のこと言うとき、ぶっちゃけ、俺、ライダーのこと、そんなに嫌いじゃないんだよね。

なんかさ、あいつ意外と真面目そうだし、うちの怪人達よりよっぽど仕事できそうだし。

それに俺のこと、ちゃんと総統扱いしてくれてるし。

イベント系の任務とか仕切らせてみたい感じかな。

気持ちで仕事するタイプみたいだから、任せるとはりきってこなしちゃったりして。

夏休み頃を狙って別の宇宙から変なのが攻めてきた時も、自然と共闘とかしっちゃったしな。

お互いに結構ノリノリでさ。

あれ、面白かったなあ……

あ、やべ。ライダー来やがった。
間に合わなかったか。
メンドクせえな。

どうせケリつかないだろうけど、仕事だからやっつけとくか。
いや、やっつける気とかないんだけどね、やっつけ仕事って意味
で。

さてと……

続く

第十九巻 死闘、ライー対総統閣下

「とう！」

いや、もういいって！

マジウザいから、そういうの。

いちいち、とう！ とか、聞いてる方が恥ずかしいし、もう、照れるわ！ 実際。

なんで真顔でそういうこと言えるかなあ。
子供？

でもさ、リアクションとんないと、場の空気読めない奴認定とかされそうだし、困るよね。

ほら、そういう雰囲気じゃん、こういう時って。

あゝ、もゝ、マジウザスゝ！

「ここがおまえの墓場だ！」

そついうのもいいって、もー！

俺、ちゃんと自分ちの墓に入るつもりだから。

敷地は狭いけど、結構立派なやつだからさ。

そついや、墓参り、ずっと行ってねえな……

「今日が貴様らショターの最期の日だ」

ショターじゃないってば。

ショッターだから。

地球をショットしちゃう怖い人達になりたいって願いが込められてるから。

シヨター、やだ。

そんな特定の趣味持つてる人みたいな呼ばれかた、心外だから。
シヨター、ヤバいでしょ。

規制されちゃうでしょーが！

一年以上も戦ってきて、ずっと勘違いしてたのかよ、おまえさん

……

「そのセリフ、そっくりきしゃまにお返しする……」

あ、かんじやったよ、俺！
ま、いつか。

気づいてないみたいだし。

「ライイダ、この先、貴様を待ち受けているのは、地獄だけだ」

「それはきしゃまの方だ！」

気づいてたよ！

嫌だよ、この人！

性格悪いよ！

ん？

なんか照れてるみたいだけど、さてはこいつ、素でかんだな。
ちよっと痛々しい感じだな。

メンドくさいけど、少しでもフォローしてやるか。

「貴様は何故そうまでして我らと戦う。何のために？」

「そんなことは貴様の知ったことか！」

あらやだ、こいつ、やっぱ空気読めねえ。

「ライダー・キーツク！」

でもって、いきなり必殺技かよ。

俺、全然弱ってねえよ。

避けれるけど、いいのか、そんなんで？

何急いでんの？

あ、今日、ワールドカップの予選だ！

予約してねえよ、俺。

録っといってくれ、ライダー！

頼む！

そう言えばさあ、前から不思議だったんだよな。なんで正面に敵がいるのに、真上に飛び上がるんだろうな……

あ、なんか落ちてる。

財布だ！

おお！ すげ、ぶあつ。

ラッキー！

これでマルトのDVD・BOXが買える。

帰りヨドバス・カメラに寄ってもギリギリ間に合うかな……

って、中身新聞紙かい！

「ひっかかったな！」

は！ しまった。いつの間にか、奴の真下に……

「とう！」

「うげ！」

こういうカラクリだったのか。

これで五十二体もの怪人がやられたというのか？

セコイぞ、ラーイダ。

て、正義の味方のくせに、ひっかつたな、は失言だろ。聞いて、
思わずビックリだよ！

解散総選挙くらいの影響力だよ！
てか、うちの怪人、どんだけっ！

あ、俺も人のこと言えねえし……

たしかカンサイベン男、ラーイダ・キック破ったんだよな。

あいつ、よくひっつかканなかつたな。

意外とポテンシャル高かつたんだな。

結構あいつも……

って、駄目じゃん！

関西人なのにお金好きの属性捨てちゃ！

そりゃステレオタイプかもしれないけどさ、せつかくのキャラ付
け、自ら削ることねえじゃん！

もったいねえよ！

関西人の風上にも置けねーよ！

そっぴゃあ、あいつ、三重県出身です、とか言ってたような気も……

続
く

第二十鬱 恐怖、四天王の足音

「……く。私を倒したからといって、これですべてが終わったと思うなよ」

あ、めっちゃめっちゃザコセリフですね、俺。

「……」

あれ、スルー？

「何！」

遅！ 反応、遅！

そんな考えることじゃねえじゃん。

やっぱりザコっぽいとか思ってたやがったな、こいつ！

「それはどういうことだ！」

「ふふふ、心ここにあらずか。よほどショックだったとみえるな」

「いや、他の事が気になっていただけだ！」

そっち！

「余裕だな、ライダー。この期に及んで、まだワールドカップの予選でも観たいのか？」

「！ 貴様の知ったことか！」

やっぱりだよ！

ちよつとカマかけたら、やっぱりだよ！

「いいのか？ こんなところにいつまでもいたら、大事な試合を見

逃してしまうぞ。早く帰ってビデオにでも録画してきたらどうだ、ふっふっふ」

「心配無用だ。その手はずはすでに整っている」

「用意周到なことだな！」

「何なら貴様にも貸してやろうか」

ほんとだな、てめー！

貸せよ、ぜったい！

「無事ここから出られたらご褒美に本当のアジトを教えてやろう」

「何！ この他にもまだアジトがあったと言うのか！」

「信じられないのなら試しにそのビデオとやらを送りつけると見せかけて爆弾でも一緒に送ってみたらどうだ？ 爆弾だけ送るような

ミエミエの真似はしないほうが身のためだぞ。すぐにわかる」

「心配しなくても貴様が粉々になるほどの高性能爆弾を山ほど送りつけてやる。楽しみにしておけ！」

いや、話が違ってる。

高性能爆弾送ってもいいから、ビデオ忘れんなよ。

「これから本当の地獄の始まりだ！ きしゃまにとってのな！」

あゝもゝ、一番いいところで、またかんじゃった！

もうグダグタだな……

「何をうつ！ 総裁！」

間違ってるよ！ 俺、『総裁』じゃなくて、『総統』だから！

どんだけ心ここにねえの！

どんだけ早く帰りたいの！

そんなサッカー好きだったのかよ！

初耳だよ！

言ってくれりゃ、前にあまってたチケットやったのに！

「どういふことか説明しろ！」

言えねーって！

言いたいけど言えねーだろ、普通。

だって秘密ばらせねえじゃん。

四天王が後任で来る予定とか。今引き継ぎ中で、一回こっちに來てから、また三日くらいいなくなるとかさ。

俺は引継ぎ書全部入ったフロッピーがあるから、もう來ないけどね。

ちゃんと全部フロッピーに入れておいたから。

フロッピーに……

フロッピーって！

今時！

あいつらのパソコン、レガシー・フリーだったら駄目じゃん！

ま、いいか。

基地の古いの使ってねって言っとこ。

続
く

最終巻 さらば地球、緑の星よ！

こんなことバラしたら、絶対陰の大首領に怒られるだろうな。

わかってくれよ、ライド。

長い付き合いだろ。

あ、おまえは俺とは初対面なのか。

スピーカー越しにしゃべっただけだもんな。

俺はこっそり二、三回会ったことあるんだけどね。ピエロとか老紳士の格好してさ。

でもな……

なんかさ……

せつねえよなあ……

そういや、こいつだけなんだよな。俺のこと本当に総統だつて認めてくれた奴。

部下どもめ、陰で俺のこと、デカ頭とか一つ目とか呼んでたらしいし。

ドル大佐の奴、キャバクラで大声でデカパン総統って言ってたつて！

ヨレヨレブリーフのくせに！

「さらばだ、ライド、また会おう」

あ、脱出ポッド、燃料入れとけつつつたのに、半分しか入ってねえじゃん。

駄目だろ、使った奴が満タンにしとかなきゃ。
満タン返し、基本だろ！

「待て、總統！」

またな、ラーイダ。

また帰ってくるから。

四天王なんかに負けんなよ。

四天王つつてもピンキリだから。

出身大学によってランクづけされててさ、總統以上のエリート四天王もいれば、幹部クラスの安っぽいのもいるしね。

名前は同じ四天王でも、刑事部長と部長刑事くらいの違いがあるんだよな。

今度来るのは地方の警察署の課長級の奴ら。

って、なんだよ、そのたとえばー！

俺、染まり切ってんな。

つつか、さつきから誰に説明してんだ、俺？

ま、いいけどさ……

あいつらインパクトはすごいけど、打たれ弱いところあるからラーイダなら大丈夫だろ。

ちなみに最初の奴、コネで四天王になった奴だから。

一人でいる時に睨むと、目、そらすから。

ボンボンだから。

んで、一回パワーアップとかしとけば、あとはサクサクいけるはずだから、ぶっちゃけ。

たぶん三人まとめていけるパターンだから。
なんか打ち切りみたいだけど。

「くそ！ 待て！」

「はっはっはーっ！」

あ、ビデオ貸してね。必ず返すから。
連絡用のメモ落としたの、気づいてくれたかな？

「待てー！ 総統ー！」

今度は総統ロボとかに乗ってやって来ようかな。インパクトあり
そうだし。

「総統ー！」

忘れんなよ。

絶対忘れんなよ。

顔違ってるかもしれないけど。

待っててくれよ。

絶対来るから。

ホント、忘れんなよな。

今度は嫁さん連れてくるからさ。でもって、子供同士戦わせよう
ぜ。

それは、ないかー！

「私は必ず帰って来る。必ずだ。はっはっはーっ！」

でも、俺、総統補佐に降格だよな、たぶん。

あ
あ
⋮

了

最終巻 さらば地球、緑の星よ！（後書き）

問題作の終了です。ノンプロット、描写レス、モノローグ調のポエム&エッセイという実験作で、思いつくままに足したり引いたりのプレッシャーゼロ作業は楽しかったのですが、反面、ちゃんとプロットをとった方が楽で、完成も早いということがわかりました。

自慰的垂れ流しにおつきあいいただきまして、ありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5170m/>

総統閣下の憂鬱

2011年6月6日21時07分発行